

JTTRI-AIRO 物流シンポジウム Part2

「タイにおける効率的な物流の構築を目指して」

宿利会長開会挨拶

皆様、こんにちは。運輸総合研究所（JTTRI）会長の宿利正史です。

本日は、タイ王国運輸省、在タイ日本国大使館、タイ商工会議所 及び バンコク日本人商工会議所 のご後援を得て、運輸総合研究所アセアン・インド地域事務所（JTTRI-AIRO）による「物流シンポジウム Part 2 『タイにおける効率的な物流の構築を目指して』」を開催できますことを大変嬉しく思います。

まず初めに、本日のシンポジウムの開催のために多大なご支援・ご協力を賜りました

- ・ チャヤタン次官、パンヤー交通政策計画局長 をはじめ
タイ王国運輸省の皆様、並びに、
- ・ 梨田 駐タイ日本国特命全権大使閣下 及び
大場 臨時代理大使

に心から感謝申し上げます。

次に、本日基調講演をいただきます

- ・ シラドル マヒドン大学 准教授、
- ・ ソムシリ マヒドン大学 講師 及び
- ・ 森 流通科学大学 名誉教授

に厚く御礼申し上げます。

また、パンヤー局長とともに本日のパネルディスカッションに御参加いただきます

- ・ チャックリット チュラーロンコーン大学 准教授、
- ・ パーヌマ タイ商工会議所 物流サプライチェーン委員会顧問、
- ・ 柴崎 東京大学大学院 准教授、
- ・ 和氣 JR貨物 執行役員 及び
- ・ 床並 盤谷日本人商工会議所 運輸部会長

に重ねて感謝申し上げます。

そして最後に、お忙しい中、本シンポジウムの会場まで足をお運びいただいた大変多くの皆様、また、オンラインでご視聴いただいている皆様に、厚く御礼申し上げます。

ちょうど1年前の今日、我々はサクサヤームタイ王国運輸大臣及び梨田日本国大使のご参加を得て、JTTRI-AIRO 開設記念シンポジウム「荒波にもまれる ASEAN の物流」を開催しました。この時は、未だ COVID-19 のパンデミックの影響下で、残念ながらオンラインによる開催を余儀なくされましたが、それから1年、今回はこのようにバンコクにて対面とオンラインの併用でシンポジウムを開催することができましたことを大変嬉しく思っています。

前回のシンポジウムでは、タイの物流が直面する諸課題について皆様と共有することができ、これを踏まえて、JTTRI-AIRO において、これら諸課題の改善策を検討するというミッションを仰せつかりました。我々はこの一年をかけて、タイと日本両国の

有識者からなる検討委員会を設置し、改善策について、ハード・ソフト両面から検討を進めてまいりました。本日は、まずこの検討の結果を、JTTRI-AIRO の2名の研究員から皆様にご報告したいと思います。また、続くパネルディスカッションでは、この検討結果を踏まえつつ、タイにおける効率的な物流を実現するための方策について、さらに踏み込んだ議論をしていただきたいと思います。

2020年初頭からのCOVID-19のパンデミックや2022年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、全世界の社会・経済に甚大な影響を及ぼし、今なお現在進行形であります。この結果、グローバルサプライチェーンが大きく損われ、私たちは、効率的で、かつ、強靱で安定的なサプライチェーンを構築することが如何に重要であるか、ということをもっと思い知らされました。

同時に、世界は「脱炭素」や「持続可能性」といった共通の課題に対処しなければなりません。

タイと日本の物流を考えるにあたって、こうしたグローバルな視点で捉えていく必要があります。タイは、ASEANの中心に位置し、周辺諸国を牽引する立場であります。そのようなタイと日本との関係は、自由で開かれたインド太平洋の実現という観点から極めて重要であります。両国における効率的で、かつ、強靱で安定的な物流の実現は、両国の経済・社会の発展と経済安全保障の観点から喫緊の課題になっていると、私は考えていま

す。

本日のシンポジウムが、物流分野におけるタイと日本との関係の強化を通じて、ASEAN における、また、ASEAN と日本との、効率的で、かつ、強靱で安定的な物流の構築に向けての一助となることを心から願っております。

最後になりますが、本シンポジウムを主催する JTTRI-AIRO は、運輸・観光分野の日本の政策シンクタンクである運輸総合研究所の2箇所目の海外拠点として、2021年4月にタイのバンコクに開設され、その活動も本年4月から3年目に入りました。

運輸総合研究所及び JTTRI-AIRO は、タイの皆様との地に足のついた連携と協働を通じて、タイと日本の運輸・観光分野の発展を目指し、両国の絆がより一層深まるよう努めてまいります。今後ともタイと日本両国の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私からのご挨拶といたします。

本日は、ご参加いただきまして誠にありがとうございます。